



# 今年の七夕は8月10日!?

七夕 (たなばた)

七夕伝説は、昔の中国で生まれました。天空でいちばんえらい神様「天帝 (てんてい)」は、「織女 (しょくじょ)」という娘がいました。織女は神様たちの着物の布を織る仕事をしており、天の川のほとりで毎日熱心に機 (はた) を織っていました。遊びもせず、恋人もない織女をかわいそうに思った天帝は、天の川の対岸で牛を飼っているまじめな青年「牽牛 (けんぎゅう)」を織女に引き合わせ、やがて二人は結婚しました。結婚してからというもの、二人は毎日遊んで暮らしていました。織女が機を織らなくなったので、神様たちの着物はすりきれてぼろぼろになり、牽牛が牛の世話をしなくなったので、牛はやせ細り、病気になってしまいました。これに怒った天帝は、二人を天の川の両岸に引き離してしまいました。しかし、二人は悲しみのあまり毎日泣き暮らし、仕事になりません。かわいそうに思った天帝は、二人が毎日まじめに働くなら、年に1度、7月7日の夜に会わせてやると約束しました。これが、現在私たちがよく知っている七夕の伝説です。

日本では織女のことを「織り姫 (おりひめ)」、牽牛のことを「彦星 (ひこぼし)」と呼んでいます。織り姫はこと座の1等星・ベガで、彦星はわし座の1等星・アルタイルです。夜空の暗い場所では、2つの星の間に天の川が横たわっているようすを観察することができます。

七夕伝説によると、年に1度、7月7日の夜に会うことができる織り姫と彦星ですが、星が実際に移動することはありません。2つの星の間は、14.4光年ほど離れていて、これは、光のスピードでも約14年半かかってしまう距離です。つまり、二人が光のスピードで移動したとしても、1年に1回会うことは、とても無理なのです。

一国立天文台 HP より抜粋一

## 伝統的七夕

発行所  
蓮池小学校校長室  
郵便番号 653-0838  
神戸市長田区大谷町 1-1-10  
[https://www.kobe-c.ed.jp/\\_view/hsi-es](https://www.kobe-c.ed.jp/_view/hsi-es)

- 今年度の目標
- あいさつをする
- なかよくすごす
- いのちを守る



7月7日は梅雨のさなか。星空を眺めることができる確率は低いですが、そこで、国立天文台では2001年から旧暦での7月7日にあたる日を「伝統的七夕」として広く報じていくことにしました。旧暦の七夕は現在の8月にあたるものが多く20時頃にはベガとアル

## 神戸港めぐり

先週、3年生と一緒に神戸港めぐりに出かけました。ロイヤルプリンセス号に乗船して神戸港内をぐるっと一周する一時間弱のクルーズです。潜水艦や大きなキリン(?)、六



ちは感じたことでしょう。帰りの電車で女性の乗客から、子供たちのマナーの良さを褒められました。

甲山を背景とした神戸の街並みや神戸大橋等を360度の景色で見渡す事ができました。リニューアルしたポートタワーを真下から見上げながら、メリケンパークでお弁当を食べました。山と海が近い神戸の特色と魅力を子供た

イルが空高く輝いています。今年の「伝統的七夕」は8月10日です。梅雨明け後で晴天率は高く、月は夜半前には沈み、その後は天の川がくっきりと見え観察に好条件となります。夏休みのこの日、ご家族で夜空の星や天の川に目を向けてみてはいかがでしょう。



開館 40 周年記念 夏の特別展

## ウルトラマン夢見る力が未来を創る 輝け! 未来の星たち展

7月6日(土)~8月25日(日)

ウルトラヒーローたちと一緒に、まだ見たことのない世界(宇宙)を想像してください。勇気や希望、思いやりをもって仲間たちと【マルチバース(宇宙・地球・時空)】を駆けぬけるウルトラヒーローたちを紹介します。その他「かいじゅうステップSDGs大作戦」コーナーや体験イベントやフォトスポット等も登場します。8月25日(日)最終日にはウルトラマンゼロが会場にやってきます。詳細はHPでご確認ください。

BANDO バンドー神戸青少年科学館